意見発表者4（会場③埼玉県さいたま市）

意見の概要

昭和22年のカスリーン台風の際、私の住んでいるすぐ近くの堤防が決壊し大災害となった。我が家も被災者家族であり、水害の話はよく話題にのぼっている。

日本や世界各地で豪雨による大規模な水害のニュースを見るたび、もし利根川流域で同じような豪雨があったらと不安になる。

今回の検証で、八ッ場ダムが利根川流域の治水上、費用対効果も含め、最も有効だとの結果が出たからには、速やかに事業をすすめ、利根川流域の住民の安心安全を確保するのが国の責任ではないか。命の問題である。

また、八ッ場ダムは、利水の面においても、埼玉県の暫定水利権の問題を解消し、渇水に対する利水安全度を高めることが今回の検証で明らかになっている。

治水、利水の両面から八ッ場ダムの有効性が明確になったのだから、国は速やかに建設続行を決断し、ダムの早期完成を目指すべきである。